

第1回「広島湾域旅客船ネットワーク活用推進協議会」を開催しました

- 近年、政府や関係自治体の取組み等により、広島市周辺を訪れる観光客数が増加しておりますが、広島市周辺の一部観光地に観光客が集中しており、観光需要を広島湾域(広島湾とその沿岸部)に十分に取り込めていない状況です。
- そのため、一部観光地に集中している観光需要を広島湾全域に拡大させる視点から、観光客目線に立って水上・海上交通の利便性向上や利活用促進を図ることによる、観光振興に取り組むことが重要です。
- この度、水上・海上交通の利便性向上や利活用促進を図ることについて、河川・港湾・まちづくりと連携して取り組むことを目的に、中国地方整備局・中国運輸局・港湾管理者・市町・関係民間団体から成る本協議会を設立しました。
- 第1回目となる当協議会を平成30年3月28日に開催し、事務局からの話題提供(課題等)の後、意見交換を行いました。

開催概要

【開催日】平成30年3月28日(水) 16:00~17:30

【場 所】広島合同庁舎3号館1階15号会議室

【次 第】(1)協議会設立趣旨説明 (2)規約(案)の説明・承認
(3)座長選出 (4)話題提供 (5)意見交換
(6)その他

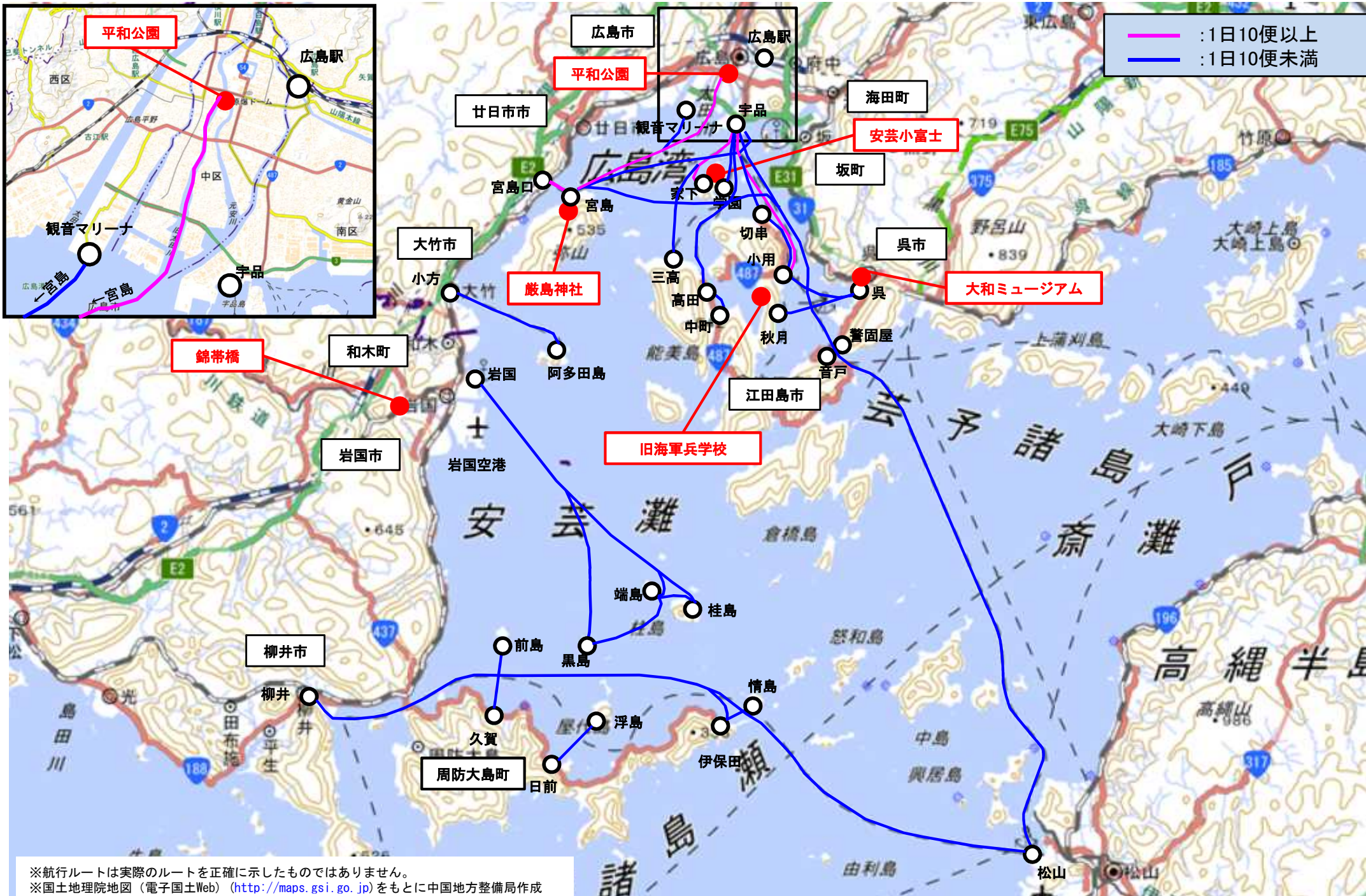


第1回 広島湾域旅客船ネットワーク活用推進協議会 開催状況

<主な意見内容>

- ・広島駅から観光地へ行く際、外国人目線に立つとこういうところが良くないなどの指摘があると検討が進む。
- ・観光地情報のブラッシュアップのようなことをこの協議会で議論して欲しい。
- ・広島湾エリアにおける既存航路の活性化のため、この協議会でPRやプロモーションをやって欲しい。
- ・港とかマリーナ施設を活用しながら、川と海を繋ぐ舟運をしっかりやっていきたい。それによって都心部と島嶼部を繋ぐことをやっていきたい。
- ・広島湾内を航行する便毎の乗船客数について、年間何人くらいの乗船客がいるのかが分かれば、乗船客が少ないところにプロモーションを通じてたくさん乗っていただくような、観光客も含めて誘導していくことができれば良い。
- ・インフラの整備も必要だが、回遊性を高めるためにはこういった観光コンテンツが必要なのかといったマーケティングからサービスする必要がある。
- ・観光案内については的確に掲示し、必要な情報を必要な方が取得できるような環境整備をしていくことで、インバウンドまたは日本国内の方に必要な情報を提供できるような体制をとっていきたい。
- ・船会社が観光要素に使えるような予備船が持てるような施策を考えて頂きたい。
- ・広島もしまなみ海道も橋が多い地域であるため、橋のミュージアム地域として売り出したらどうか。

広島湾域の主な航路



※航行ルートは実際のルートを正確に示したものではありません。
 ※国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに中国地方整備局作成